

改訂日 2022年9月29日(第14版)

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	サイハロン® 乳剤 (シハロトリン乳剤)
会社名	シンジェンタジャパン株式会社
住所	〒104-6021 東京都中央区晴海1丁目8番10号オフィスタワーX 21階
担当部門	HSEグループ
電話番号	03-6221-1027
Eメールアドレス	SDS-JP@syngenta.com
緊急連絡先	同上
推奨用途及び使用上の制限	殺虫剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:	引火性液体	区分 3
健康に対する有害性:	急性毒性(経口)	区分 4
	急性毒性(吸入:ミスト、蒸気)	区分 4
	皮膚腐食性/刺激性	区分 2
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2A
	発がん性	区分 2
	生殖毒性	区分 1B
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)
環境に対する有害性:	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 1(呼吸器、神経系)
	誤えん有害性	区分 1
	水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1

* 記載がないものは「区分に該当しない(分類対象外を含む)」または「分類できない」

ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険
危険有害性情報: 引火性液体及び蒸気

飲み込むと有害
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
発がんのおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)
眠気又はめまいのおそれ(麻酔作用)
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(呼吸器、神経系)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手する。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用する。

取扱い後はよく手を洗う。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざける。禁煙
容器を密閉しておく。

容器を接地しアースをとる。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用する。

火花を発生させない工具を使用する。

静電気放電に対する措置を講ずる。

ミスト／蒸気／スプレーを吸入しない。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用する。

環境への放出を避ける。

【応急措置】

火災の場合:消火するために粉末消火剤、耐アルコール性泡消火剤を使用する。

飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。無理に吐かせない。

皮膚に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ。皮膚を多量の水で洗う。

皮膚刺激が生じた場合:医師の診察／手当てを受ける。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯する。

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

眼の刺激が続く場合:医師の診察／手当てを受ける。

ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察／手当てを受ける。

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受ける。

漏出物を回収する。

【保管】

換気の良い場所で保管する。涼しいところに置く。容器を密閉しておく。施錠して保管する。

【廃棄】

内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

国／地域情報

毒物及び劇物取締法 第2条 劇物
消防法 第4類第2石油類

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

化学名 (RS)-α-シアノ-3-フェノキシベンジル=(Z)-(1RS,3RS)-3-(2-クロロ-3,3,3-トリフルオロプロペニル)-2,2-ジメチルシクロプロパンカルボキシレート
【一般名:シハロトリン】

成分	含有量(%)	化学式	官報公示 整理番号	CAS No.
シハロトリン	5.0	$C_{23}H_{19}ClF_3NO_3$	4-(7)-1496	68085-85-8
有機溶剤、界面活性剤等 (キシレン)	95.0 (48)	— C_8H_{10}	— (3)-3	— 1330-20-7
(エチルベンゼン)	(36)	C_8H_{10}	(3)-28	100-41-4
(ポリオキシエチレンノニ ルフェニルエーテル)	(2)	$(C_2H_4O)_n C_{15}H_{24}O$	(7)-172	9016-45-9

4. 応急措置

- 吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師の診断、手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 汚染された衣類を脱ぎ、付着又は接触部を石鹼で洗浄し多量の水を用いて洗い流す。気分が悪い時、皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断を受ける。汚染された衣類は再使用する場合には洗濯する。
- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当を受ける。
- 飲み込んだ場合: 無理に吐かせないで直ちに医師に連絡する。口をすすぐ。可能であれば容器、ラベル又はこのデータシートを医師に示す。

5. 火災時の措置

- 消火剤 小火災: 粉末消火剤、二酸化炭素、耐アルコール性泡消火剤
大火災: 噴霧放水、耐アルコール性泡消火剤

使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特定の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合には、容器及びその周囲に散水して冷却する。 汚染された消火水を排水路や河川等に流入させてはならない。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。
除去方法	土砂など不燃性の吸収材で漏出物を吸収し、密封できる廃棄物用容器に回収する。回収後、汚染部を水で洗浄する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を用意する。 風下の人を退避させ、漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬用外劇物。取扱いには十分注意する。 ・周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 ・電気機器類は防爆型(安全増型)のものを使用する。 ・適切な保護具を着用し、眼や皮膚への接触や吸入を避ける。 ・作業は換気のよい場所で行う。 ・取扱い時には飲食、喫煙をしない。 ・取扱い後は手や顔などの露出部をよく洗い、うがいをする。 ・ラベルをよく読んでから、保管・使用する。 ・製品の飛散、漏出等がないようにする。
保管	<ul style="list-style-type: none"> ・火気をさけ、直射日光が当たらない鍵のかかる低温な場所に密栓して保管する。 ・小児の手の届く所には置かない。 ・食品や飼料と区別して保管する。 ・盗難・紛失の際は警察に届け出る。 ・誤飲の危険を避けるため、他の容器には絶対に移しかえない。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱い時にはできるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
------	----------------------------------------------------------------------------------------

	・取扱い場所の近くに洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。		
管理濃度	シハロトリン	シンジェンタ社	TWA 0.4 mg/m ³
	キシレン		ACL 50 ppm
	エチルベンゼン		ACL 20 ppm
許容濃度	キシレン	日本産業衛生学会 (2020)	OEL 217 mg/m ³ , 50 ppm
		ACGIH	TWA 100 ppm STEL 150 ppm
	エチルベンゼン	日本産業衛生学会 (2020)	OEL 87 mg/m ³ : 20 ppm
		ACGIH	20 ppm TWA
保護具	呼吸器用の保護 具	保護マスク	
	手の保護具	不浸透性手袋	
	眼の保護具	ゴーグル型保護眼鏡	
	皮膚及び身体の 保護具	耐薬品性エプロン、もしくは不浸透性の衣類、ゴム長靴 等	

9. 物理的及び化学的性質

形状	澄明液体
色	淡黄色
比重	0.904 (20°C)
pH	6.34
引火点	26.5°C (タグ密閉式)
オクタノール／水分配係 数	シハロトリン: log Pow = 6.9(20°C)

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件下では安定。
反応性	通常の条件下では安定。
危険有害な分解生成物	通常の条件下では生成しない。 加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。

11. 有害性情報

急性経口毒性	LD50 ラット	524.3~614 mg/kg (♂) 325.5~708 mg/kg (♀)	GHS 分類: 区分 4
急性経皮毒性	LD50 ラット	>2000 mg/kg	GHS 分類: 区分外
急性吸入毒性	LC50	6100ppm(蒸気、推定値) 1.3mg/L 以上(ミスト、推定値)	GHS 分類: 区分 4

皮膚腐食性／皮膚刺激性	ウサギ	中等度の刺激性	GHS 分類:区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	ウサギ	重度の眼刺激性(原液) ごく軽度の刺激性(500 倍希釈液) 眼刺激性なし(1000 倍希釈液)	GHS 分類:区分 2A
皮膚感作性 発がん性	モルモット	感作性なし	GHS 分類:区分外 区分 2 に分類されるエチルベンゼンをカットオフ値の 1.0%以上含有することから区分 2 とした。
生殖毒性			区分 1B に分類されるキシレン及びエチルベンゼンをカットオフ値の 0.3%以上含有することから区分 1B とした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)			区分 1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)及び区分 3(麻酔作用)に分類される混合キシレン(キシレン、エチルベンゼン)をカットオフ値(区分 1: 10%;区分 3:20%)以上含有することから区分 1(呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓)及び区分 3(麻酔作用)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)			区分 1(呼吸器、神経系)に分類されるキシレンをカットオフ値の 10%以上含有することから区分 1(呼吸器、神経系)とした。
誤えん有害性:			区分 1 に分類される混合キシレン(キシレン、エチルベンゼン)を 10%以上含有することから区分 1 とした。

12. 環境影響情報

生態毒性			
水産動植物への影響	コイ LC50 (96hr)	9.6 μ g/L	GHS 分類:区分 1
	オオミジンコ EC50 (48hr)	194 μ g/L	GHS 分類:区分 1
	藻類 EbC50 (0~72hr)	6.0 mg/L	GHS 分類:区分 3
	藻類 ErC50 (0~72hr)	21.2 mg/L	
その他	蚕毒		蚕に対して長期間毒性があるので、付近に桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないよう注意する。

13. 廃棄上の注意

注意事項	<p>廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上、処理を委託する。</p> <p>空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。</p>
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	Primary クラス 6.1 Subsidiary クラス 3
国連番号	3351
品名	ピレスロイド系殺虫殺菌剤類 (液体) (毒性かつ引火性のもの) (引火点が 23℃以上 60℃以下のもの)
容器等級	III
海洋汚染物質	該当
輸送時の安全対策	運搬に際しては、容器に破損、漏れのないことを確認し、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 直射日光、風雨に直接暴露しない状態で輸送する。

15. 適用法令

農薬取締法	登録番号 第 17013 号
消防法	危険物第 4 類第 2 石油類 (非水溶性)
毒物及び劇物取締法	第 2 条 劇物
労働安全衛生法	法第 57 条の 2 通知対象物質 キシレン 法第 57 条の 2 通知対象物質 エチルベンゼン
化管法	キシレン 第 1 種指定化学物質 (48%) エチルベンゼン 第 1 種指定化学物質 (36%) ポリ(オキシエチレン)＝アルキルフェニルエーテル(アルキル基の炭素数が9のものに限る。) 第 1 種指定化学物質(2%)

16. その他の情報

記載内容の取扱い	<p>製品安全データシートは、化学製品を安全に取扱うための参考資料として、当該化学製品を取扱う事業者提供されるものであって、安全を保証するものではありません。また、ここに記載された数値は規格値や品質を保証する数値ではありません。</p> <p>この製品安全データシートは、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、本品(当該製品)に関する全ての情報が網羅されているわけではありません。また、記載内容は当該製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従って、当該製品を取扱う事業者は、個々の取扱い等の目的への適合性を判断し、この安全データシートや製品ラベルに記載のものを含め、実状に応じたあらゆる適切な予備的措置を講じてください。</p> <p>当社のいかなる保証違反においての責任は、製品の交換又は購入額の払い戻しに限られます。当該製品を取扱う事業者が、上記の適切な予備的措置を講じなかった場合、シンジェンタは責任を負いません。</p>
問合せ先	担当部門 電話番号 HSEグループ 03-6221-1027
中毒の緊急問合せ先	公益財団法人 日本中毒情報センター

中毒 110 番	一般市民向け受信相談 (情報料無料)	医療機関専用有料電話 (1 件につき 2000 円)
----------	-----------------------	-------------------------------

大阪 (365日、24時間)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日、9-21時)	029-852-9999	029-851-9999

「サイハロン」はシンジエンタ社の登録商標です。